

青少年育成市民会議主催・共催 2大事業を 開催します

令和5年度 少年の主張可児市大会「わたしの主張2023」

日時 令和5年6月17日（土）13:30～16:30

会場 可児市文化創造センター 大ホール

市内の全中学校代表12名が、普段の生活の中で感じている考えや思いを、

- ◆ 社会や世界に向けての意見、未来への希望や提案
- ◆ 家庭、学校生活、社会（地域活動）及び身の回りや友だちとの関わり
- ◆ テレビや新聞などで報道されている少年の問題行動、大人や社会のさまざまな出来事に対する意見や感想・提言

をテーマに、自分自身の言葉で真摯に力強く主張します。

善行少年の表彰、西可児中学校吹奏楽部の演奏も行います。

「私自身、今の自分では考えなかった
考えて勉強になった主張もありました。
主張の仕方がすばらしい方もみえまし
たが、それ以上に主張される内容に気
付かされることが多く、今日出席でき
てよかったですと思いました。」（令和4年度
アンケートより）

「スピーチの仕方を学びたい！」と参加し
た親子がいらっしゃいました。お手本ス
ピーチがたくさん聞ける機会を是非ご活用
ください！（事務局より）

令和5年度 青少年育成シンポジウム

日時 令和5年11月18日（土）13:30～15:35

会場 可児市文化創造センター 大ホール

開会行事 「わが家の宝物」作文・標語優秀賞表彰、作文発表
「家庭の日」啓発図画・ポスター 県入選作品表彰

講演 (14:00～15:30)

「(仮)学校へ行けない 僕たちの気持ち
～ 僕たちを支える 地域の力 ～」

講師 漫画家 棚園 正一 氏（予定）

愛知県出身、1982年生まれ。小学校から中学校時代を不登校で過ごす。13歳の時に漫画家鳥山明氏と出会い、漫画家を目指す。NHK「ウワサの保護者会」をはじめ、メディア出演多数。不登校をテーマにした講演会も各地で行っている。著書に「学校へ行けない僕と9人の先生」「学校へ行けなかった僕と9人の友だち」「学校に行きたくない君へ」がある。

令和3年度、30日以上欠席した不登校の小中学生が24万人に上り、過去最多となりました。

学校へ行けない彼らやその家族は、どんな思いで過ごしているのでしょうか？

不登校を経験した人たちは、今どうしているのでしょうか？

自らの不登校の経験や、取材や講演会を通して出会った方々のエピソードをお話しいたします。

「フツウ」に悩む方へ。生き方のヒントがきっとあります。（事務局より）



マンガで読む 学校に行きたくない君へ
著／棚園正一 ポプラ社

問い合わせ先 : 可児市青少年育成市民会議事務局 0574-62-1111
(可児市市民文化部地域協働課地域支援係)